

# 株式会社ネプロジャパン

2014年3月期(第23期)  
第2四半期決算説明会資料  
(JASDAQスタンダード:9421)

2013年11月26日

## 当資料についての注意

- ・ 当資料に記載されている当社及び当社子会社の現在の戦略・計画・認識等のうち、将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確実な要因を含んでおり、実際の業績は、様々な要因により、見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績に影響を与えうる主要な要因には、当社及び当社子会社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社及び当社子会社の提供する製品・サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落や顧客の求めに応じることのできる技術力等があります。なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。
- ・ 当資料の作成に際し、正確性を確保するため、注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 当資料は、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・ 当資料に記載されている会社名及び製品・サービス名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

## I. 会社概要及び事業環境

1. 会社概要
2. 事業環境

## II. 2014年3月期上期決算ハイライト

1. 連結業績概要
2. セグメント別業績概要
3. 施策

## III. 2014年3月期通期業績見通し

1. 通期業績見通し
2. 施策
3. 配当

※補足資料:株価推移

# I . 会社概要及び事業環境

# 1. 会社概要

## (1) 会社情報及び沿革

### 会社情報

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 設立   | : 1991年12月                          |
| 本社   | : 東京都中央区京橋1-11-8 西銀ビル               |
| 資本金  | : 592, 845千円(2013年3月末現在)            |
| 従業員数 | : 連結 560名 (2013年9月末時点 ※うち臨時雇用者242名) |

### 沿革

- ・91年12月 株式会社新都市科学研究所として設立
- ・95年11月 ディーディーアイ関西ポケット電話株式会社(現 株式会社ウィルコム)と一次代理店契約を締結し、移動体通信事業を開始
- ・96年 4月 エヌ・ティ・ティ関西移動体通信網株式会社(現 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ)と一次代理店契約を締結
- ・96年 4月 移動体通信事業会社である株式会社インターベルを設立
- ・96年 8月 株式会社インターベルが関西セルラー電話株式会社(現 KDDI株式会社)と一次代理店契約を締結
- ・97年 3月 株式会社新都市科学研究所から株式会社ネプロジャパンに商号変更
- ・99年 6月 株式会社インターベルが株式会社東京デジタルホン(現 ソフトバンクモバイル株式会社)と一次代理店契約を締結
- ・00年 7月 株式会社インターベルが郊外型携帯電話販売店(現 ピポパーク)の営業展開を開始 ※現在の運営会社は株式会社キャリアフリー
- ・04年 4月 株式会社インターベルを当社に吸収合併
- ・06年 4月 ジャスダック証券取引所に上場
- ・07年 3月 株式会社ネプロサービス(現株式会社シーズプロモーション)を設立し、人材コンサルティング事業に進出
- ・10年 3月 株式会社キャリアフリーを新設分割し、当社移動体通信事業併売店部門を事業承継
- ・10年 4月 株式会社キャリアフリーが株式会社光通信と資本業務提携し、併売店21店舗を譲受け
- ・11年 9月 株式会社モバイル&ゲームスタジオの発行済株式を全て取得し、連結子会社化

# 1. 会社概要

## (2) 事業内容及びグループ概要

### 事業内容

- 移動体通信事業における店舗運営を中心に、モバイルゲームコンテンツ等の企画・制作や店舗への人材派遣や販売プロモーションなどを行う。
- 東名阪と北関東を中心に店舗を展開
  - ・ドコモショップ、auショップ、SBショップほかの専売店 23店舗
  - ・大手3キャリアをはじめ全キャリアを扱う販売店 25店舗



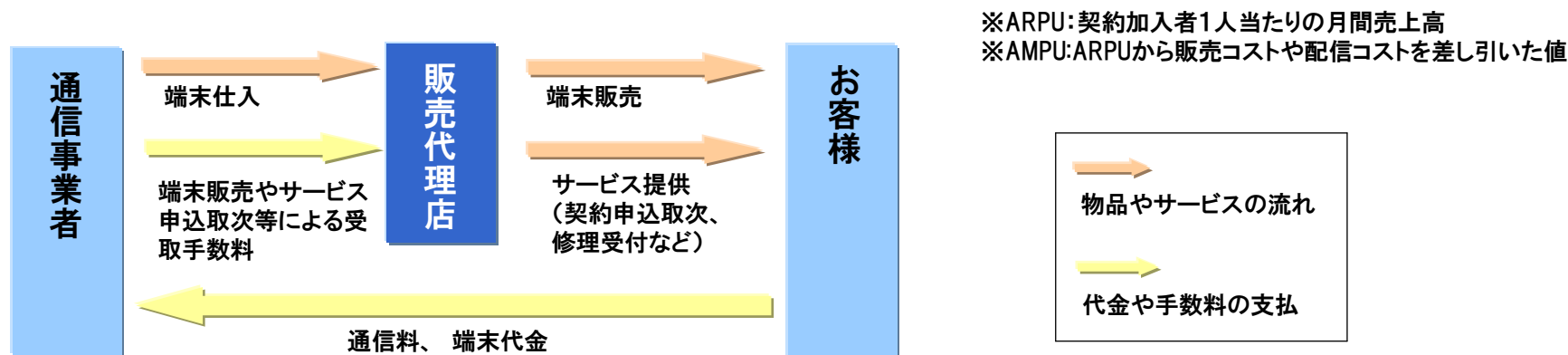
### 【グループ概要】



# 1. 会社概要

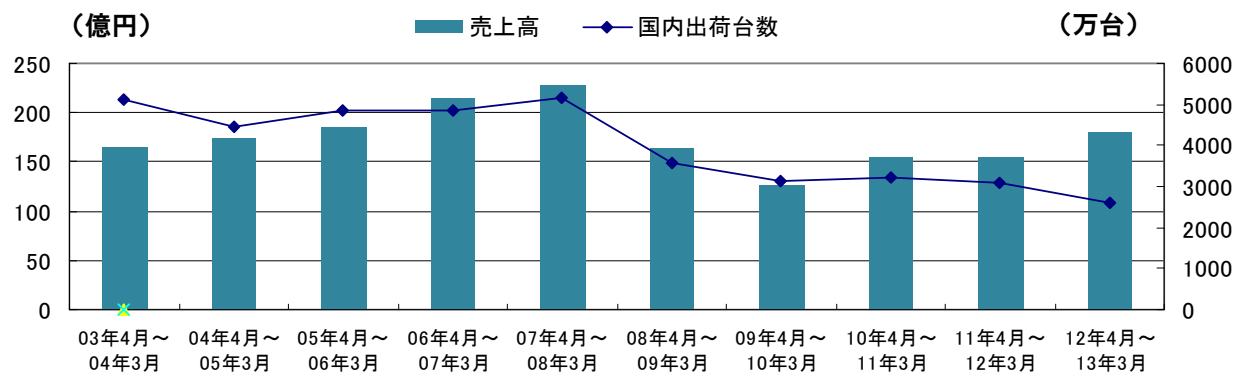
## (3) 移動体通信事業概要

移動体通信端末販売や、通信サービス利用申込取次を行う販売代理店事業。  
 売上高は端末販売による手数料、サービス申込取次による手数料等の受取手数料から構成される。  
 売上高の主な増減要因は、販売台数や通信事業者の契約加入者数並びにARPU・AMPUの増減である。



### 【売上高と携帯電話国内出荷台数の推移】

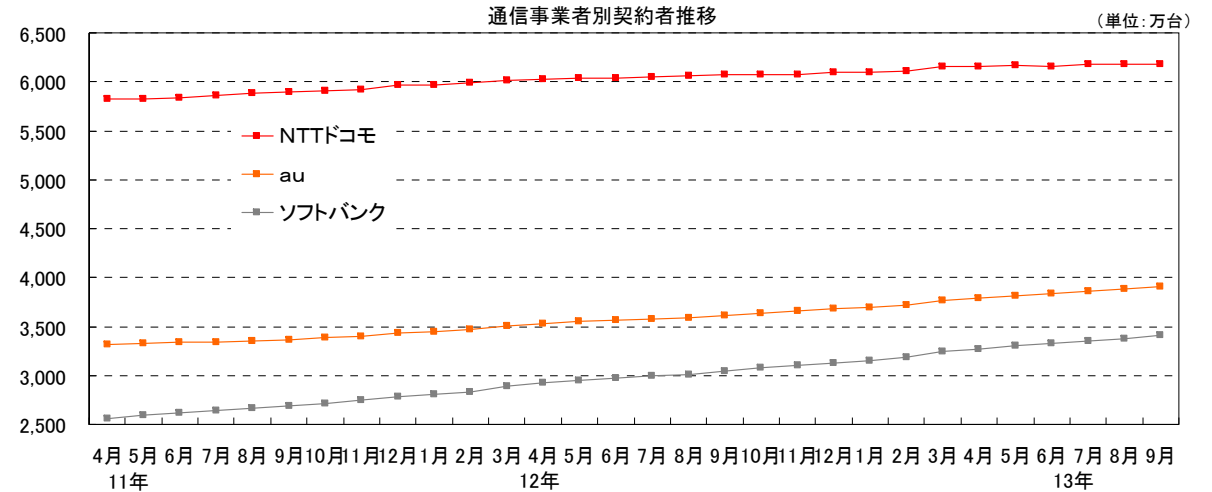
2008年3月期に本格化した割賦販売により買い換えサイクルが長期化し、国内出荷台数が減少。  
 同影響により、当社も販売台数及び売上高が減少。  
 2013年3月期はスマートフォン需要を取り込み、売上高は増加。



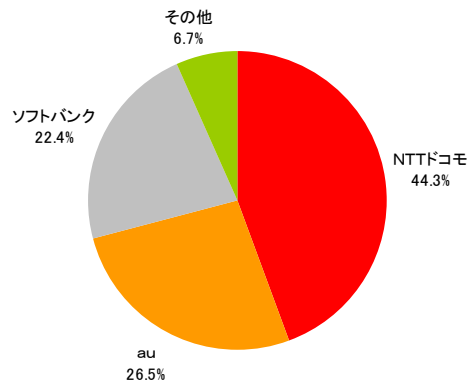
## 2. 事業環境 移動体通信市場の状況

■NTTドコモ、au、ソフトバンクの大手3キャリアともに契約加入者数は増加を続けている。

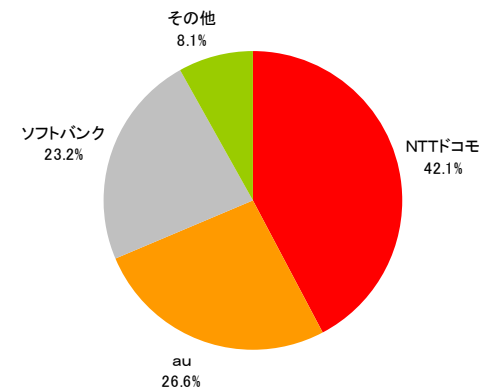
■一方で通信事業者の契約者数シェアはこの1年でNTTドコモが2.2%減少、auが0.1%増加、ソフトバンクが0.8%増加している。



2012年9月末



2013年9月末



※社団法人 電気通信事業者協会資料を基に当社作成



## Ⅱ. 2014年3月期上期決算ハイライト

# 1. 連結業績概要

## (1) 業績サマリー

(単位:百万円)

|                | 13.3期上期 | 14.3期上期 | 前年同期比 |            | 変動の主な要因                                         |
|----------------|---------|---------|-------|------------|-------------------------------------------------|
|                |         |         | 増減    | 増減率<br>(%) |                                                 |
| 売上高            | 8,695   | 7,839   | △856  | △9.8       | ・採算悪化した販売店の閉鎖による販売台数減<br>・新型iPhone1による想定以上の買い控え |
| 売上総利益          | 1,887   | 1,641   | △246  | △13.0      | ・競争激化による粗利率の低下                                  |
| 販売費及び<br>一般管理費 | 1,710   | 1,693   | △17   | △1.0       | ・採算悪化した販売店の閉鎖による販管費減<br>・専売店の大型化等による人件費増        |
| 営業利益           | 177     | △51     | △228  | -          |                                                 |
| 経常利益           | 91      | △74     | △17   | -          |                                                 |
| 四半期純利益         | 75      | △94     | 169   | -          | ・収益悪化した店舗の設備等について減損損失                           |

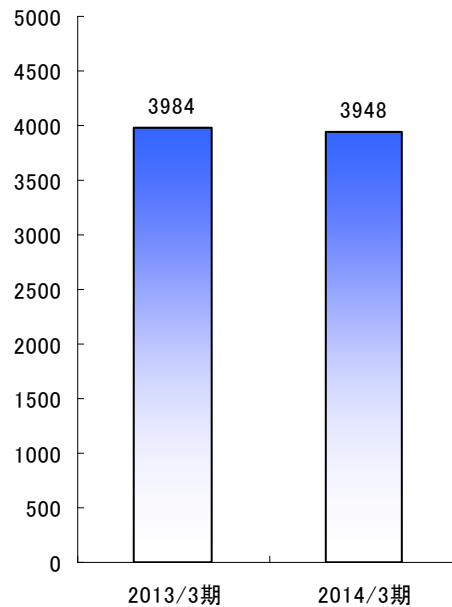
# 1. 連結業績概要

## (2) 四半期業績①

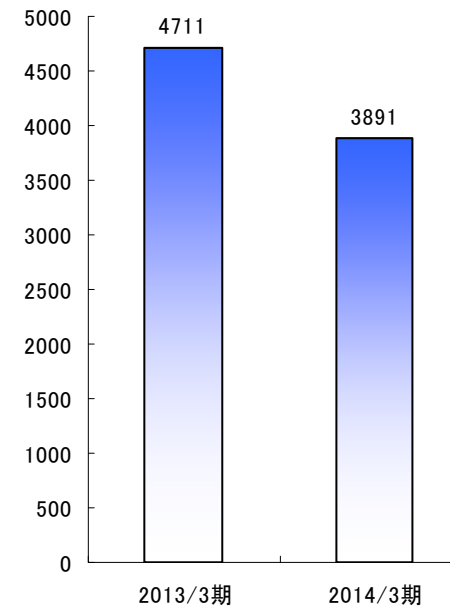
### 四半期業績比較

(単位:百万円)

第1四半期売上高



第2四半期売上高



**第1四半期は前期並みに推移するも、  
第2四半期における想定以上の買い控えにより、売上高は減少**

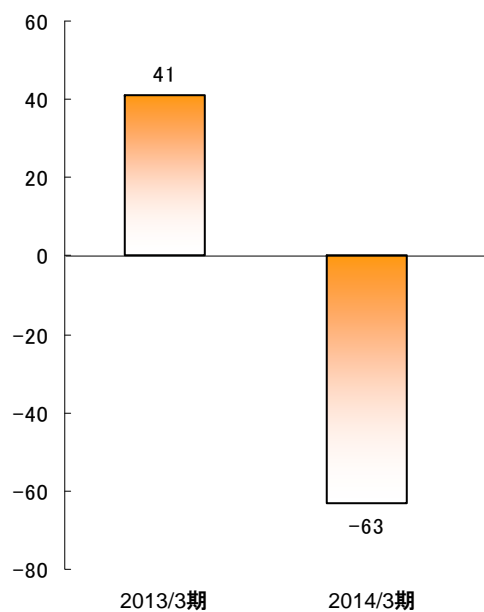
# 1. 連結業績概要

## (2) 四半期業績②

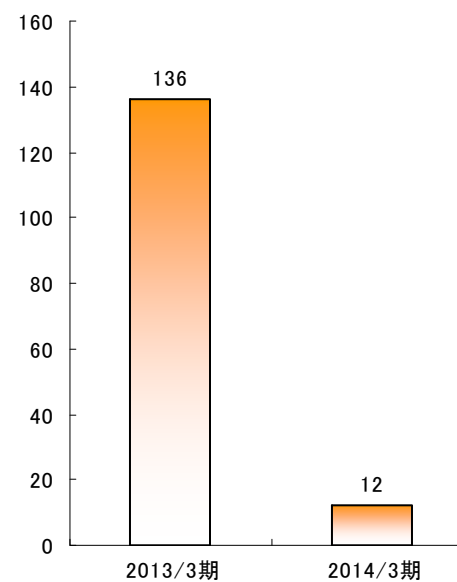
### 四半期業績比較

(単位:百万円)

#### 第1四半期営業利益



#### 第2四半期営業利益



第1四半期は落ち込むも、第2四半期より、回復傾向

# 1. 連結業績概要

## (3) セグメント別業績

(単位:百万円)

|              | 売上高          |              |            | セグメント利益      |              |            |
|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|
|              | 13.3期<br>上半期 | 14.3期<br>上半期 | 前期比<br>(%) | 13.3期<br>上半期 | 14.3期<br>上半期 | 前期比<br>(%) |
| 移動体通信事業      | 7,521        | 6,642        | 88.3%      | 315          | 90           | 28.5%      |
| モバイルゲーム事業    | 990          | 1,024        | 103.4%     | 53           | 87           | 164.1%     |
| その他          | 182          | 172          | 94.5%      | 11           | △7           | —          |
| 全社費用・のれん償却額等 | —            | —            | —          | △202         | △222         | —          |
| 合計           | 8,695        | 7,839        | 90.1%      | 177          | △51          | —          |

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

## 2. セグメント別業績概要

### (1) 移動体通信事業

#### 移動体通信事業

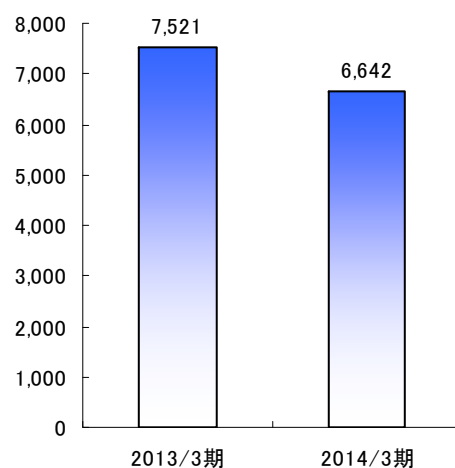
(当社、連結子会社(株)キャリアフリー)

#### 「減収減益」

- 専売店およびパートナー代理店は、新型iPhoneへの想定以上の買い控えにより、販売台数減
- 販売店は不採算店舗整理により販売台数は減少するも、損益は改善傾向

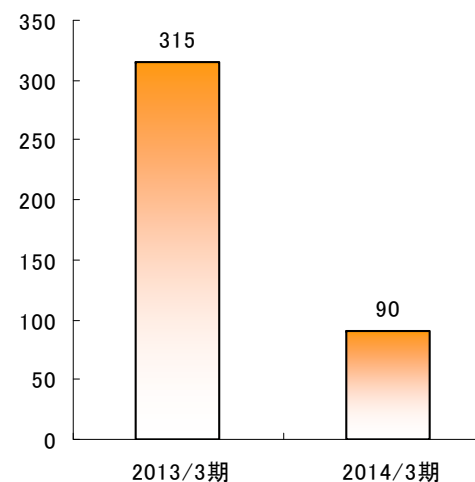
#### 業績状況

<セグメント売上高>



<セグメント利益>

(単位:百万円)



## 2. セグメント別業績概要 (2) モバイルゲーム事業

### モバイルゲーム事業

(連結子会社株)モバイル&ゲームスタジオ)

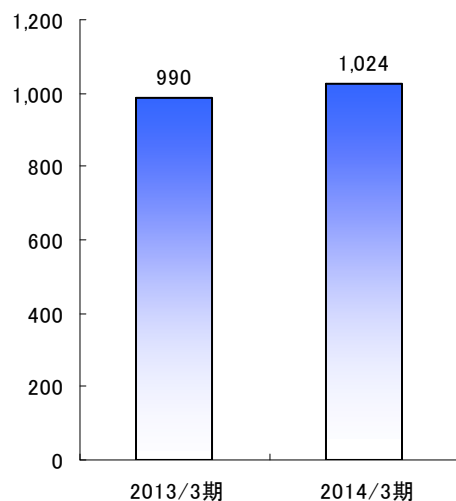
#### 「増収増益」

- 開発プロジェクトの原価率低減の取り組み成果が現れ始めたことに加え、一部開発プロジェクトの収益計上が第2四半期に早まったことから、増収増益
- 大手ゲームメーカーからの継続的な大型の受託開発をベースに、ゲームメーカーの競争激化による案件増により業績は拡大。

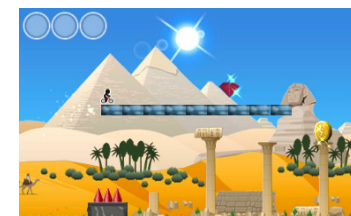
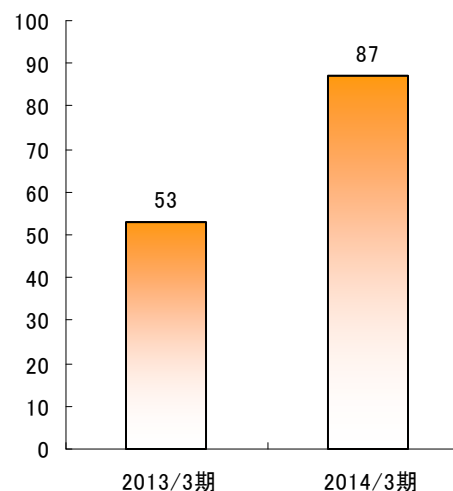
#### 業績状況

(単位:百万円)

<セグメント売上高>



<セグメント利益>



### 3. 施策 (1) 上期の主な取り組み実績

- 6月15日  
「ピポパーク関内店」移転リニューアル
- 6月27日  
「ピポパーク池袋60階通り店」リニューアル
- 7月5日  
「ドコモショップ河原町丸太町店」リニューアル
- 7月25日  
「ドコモショップ大府店」  
移転リニューアル
- 9月6日  
「ドコモショップ三軒茶屋店」リニューアル



ピポパーク関内店



ピポパーク池袋60階通り店



ドコモショップ河原町丸太町店



ドコモショップ大府店



ドコモショップ三軒茶屋店



### 3. 施策 (2) 上期の主な取り組み実績

■5月29日 iTunes Store, Google Playにて、  
ゲームアプリ『Jungle Gem Tournament』が配信

Jungle Gem Tournament



■6月28日 ニンテンドー3DS™ソフト  
『超速変形ジャイロゼッター アルバロスの翼』が  
株式会社スクウェア・エニックスより発売



超速変形ジャイロゼッター アルバロスの翼

■8月21日 au こどもパーク,iTunes  
Store,Google Playにて、『森のジュース屋さん』  
が株式会社カエルパンダより配信



森のジュース屋さん

■8月22日 『LORD of VERMILION Ⅲ』稼働開始



LORD of VERMILION Ⅲ

## Ⅲ. 2014年3月期通期業績見通し

# 1. 通期業績見通し

## 14.3月期通期連結業績見通し

(単位:百万円)

| 科目    | 13.3期<br>実績(A) | 14.3期<br>通期予想(B) | 差異(B)-(A) |
|-------|----------------|------------------|-----------|
| 売上高   | 17,936         | 17,500           | △436      |
| 営業利益  | 255            | 130              | △125      |
| 経常利益  | 93             | 100              | 7         |
| 当期純利益 | 51             | 10               | △41       |

## 2. 施策

### (1) 下半期の業界環境

#### 移動体通信事業

- 9月に発表された新型 iPhoneより通信事業者 3社が揃って取り扱う
- 通信事業者間の顧客獲得競争のより一層の激化
- 買い替え需要の喚起とタブレット端末市場の拡大

#### モバイルゲーム・その他事業

■モバイルゲーム事業においては、スマートフォン等の普及に伴い、オンラインゲームの要素を持ったゲームが増加。従来のパッケージ、ソーシャル、アーケード等という区分がそれぞれ領域を広げており、ゲーム市場全体は拡大。

■人材コンサルティング事業においては、引き続き携帯販売ショップの人材ニーズが継続

## 2. 施策

### (2) 下期の取り組み

#### 14.3月下旬施策方針

##### 移動体通信事業

■専売店は店舗の移転改装等により大型化の取組みが進んでおり、年末年始・年度末の商戦期にむけ機会損失を減らすとともに、さらなる接客・対応の効率化を実施

■販売店は引き続き販売スキルの向上に取り組むとともに、不採算店舗の見直し、他業態とのコラボ等により一層の損益改善に取り組む

##### モバイルゲーム・その他事業

■モバイルゲーム事業においては、人材確保を強化し、案件増加に対応できる開発体制の拡充と新規取引先の獲得を図る

■その他事業(人材コンサルティング)では、教育により派遣スタッフの販売・対応力をより高め、引き続き携帯販売ショップの人材不足ニーズの取り込みを強化し、関東エリアおよび新しく営業展開を開始した関西エリアでの事業拡大を目指す

##### その他

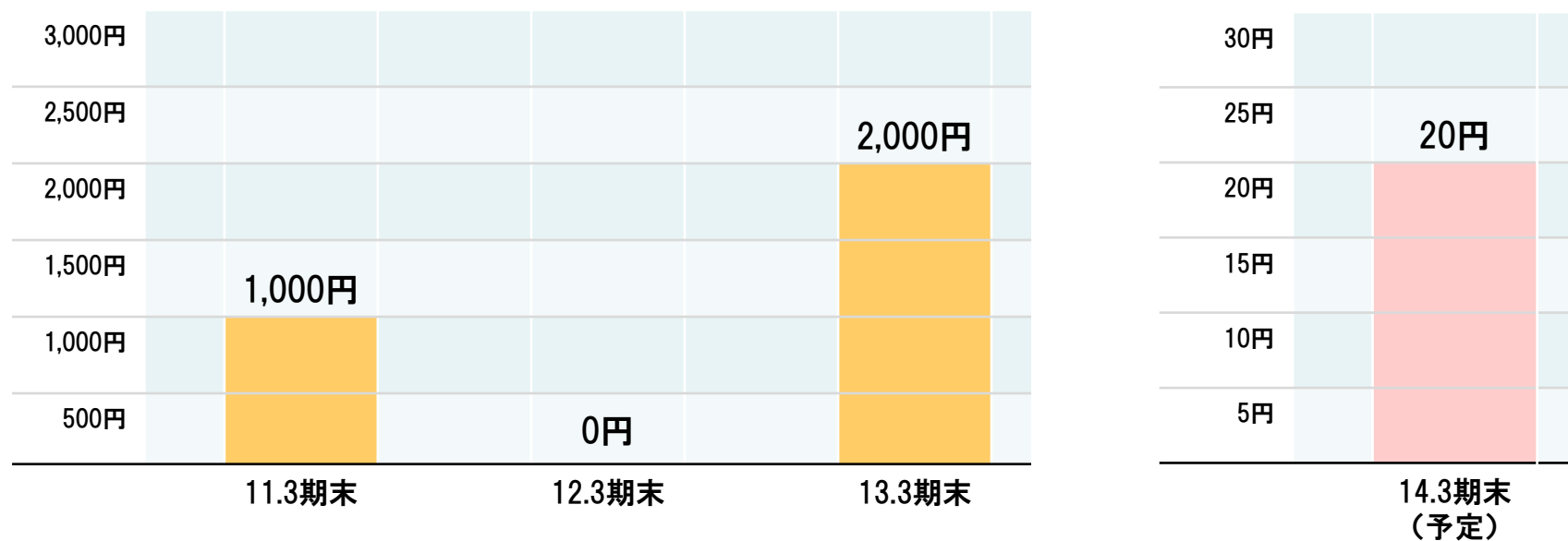
■全社等間接部門の費用の見直しを行いコスト削減に取り組む

■実質有利子負債の削減による財務体質の改善

### 3. 配当

#### 配当政策

- 期末配当は、株式分割<sup>(※)</sup>により、1株当たり20円を予定しております。



※平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割前の配当金につきましては実際の配当金の額を記載しております。

# 補足資料

# 参考データ① 連結貸借対照表

(単位:百万円)

|         | 12年3月末 |        | 13年3月末 |        |        |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
|         | 金額     | 構成比    | 金額     | 構成比    | 増減     |
| 資産の部    |        |        |        |        |        |
| 流動資産    | 4,039  | 55.2%  | 3,641  | 58.0%  | △398   |
| 固定資産    | 3,273  | 44.7%  | 2,636  | 42.0%  | △637   |
| 有形固定資産  | 378    | 5.2%   | 323    | 5.1%   | △55    |
| 無形固定資産  | 348    | 4.8%   | 275    | 4.4%   | △73    |
| 投資その他資産 | 2,546  | 34.8%  | 2,036  | 32.4%  | △510   |
| 繰延資産    | —      | —      | —      | —      | —      |
| 資産合計    | 7,312  | 100.0% | 6,277  | 100.0% | △1,035 |
| 負債の部    |        |        |        |        |        |
| 流動負債    | 4,856  | 66.4%  | 3,991  | 63.6%  | △865   |
| 固定負債    | 867    | 11.9%  | 792    | 12.7%  | △75    |
| 負債合計    | 5,723  | 78.2%  | 4,784  | 76.2%  | △939   |

|          | 12年3月末 |        | 13年3月末 |        |        |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|          | 金額     | 構成比    | 金額     | 構成比    | 増減     |
| 純資産の部    |        |        |        |        |        |
| 株主資本     | 998    | 13.6%  | 1,050  | 16.7%  | 52     |
| 資本金      | 592    | 8.1%   | 592    | 9.4%   | —      |
| 資本剰余金    | 345    | 4.7%   | 345    | 5.5%   | —      |
| 利益剰余金    | 88     | 1.2%   | 141    | 2.2%   | 53     |
| 自己株式     | △28    | △0.4   | △28    | △0.4   | —      |
| 評価・換算差額等 | —      | —      | 41     | 0.7%   | 41     |
| 少数株主持分   | 590    | 8.1%   | 400    | 6.4%   | △190   |
| 純資産合計    | 1,589  | 21.7%  | 1,493  | 23.8%  | △96    |
| 負債純資産合計  | 7,312  | 100.0% | 6,277  | 100.0% | △1,035 |



## 参考データ② 連結キャッシュフロー計算書

### 通期連結キャッシュフローの状況

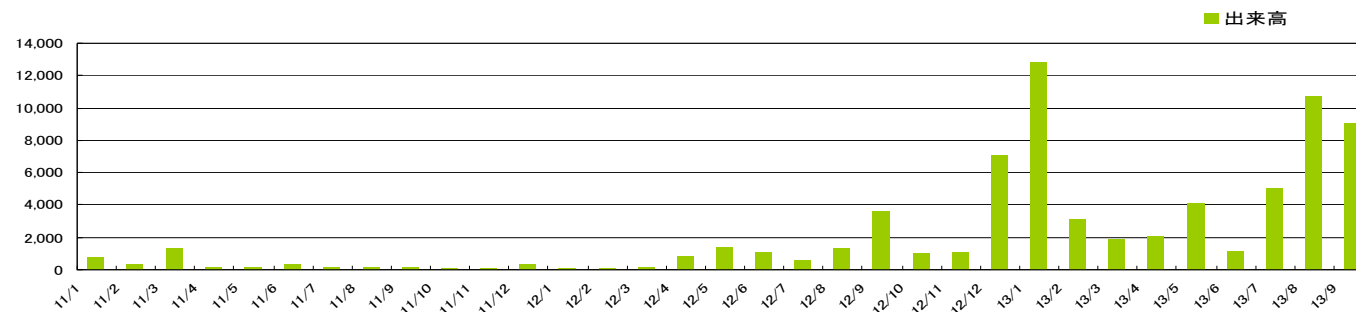
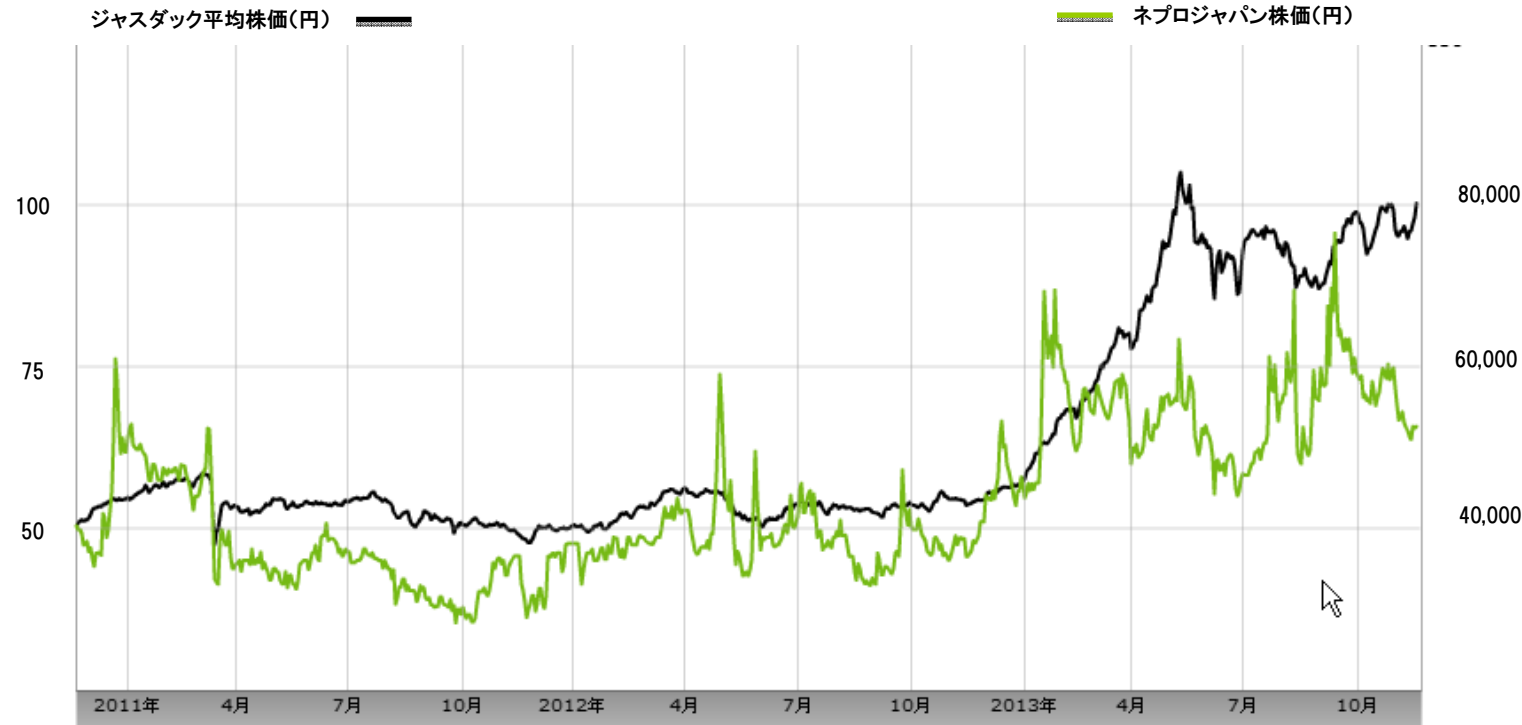
(単位:百万円)

|                         | 09.3期<br>通期 | 10.3期<br>通期 | 11.3期<br>通期 | 12.3期<br>通期 | 13.3期<br>通期 |
|-------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 営業活動による<br>キャッシュフロー (A) | 1,273       | 489         | 387         | 767         | 378         |
| 投資活動による<br>キャッシュフロー (B) | △1,532      | △219        | △1,456      | 28          | 226         |
| 財務活動による<br>キャッシュフロー     | 84          | 25          | 623         | △816        | △736        |
| フリーキャッシュフロー<br>(=A+B)   | △259        | 270         | △1,069      | 795         | 604         |

# 参考データ③ 株価推移

## 株価推移

最近3年間の当社及び日経JASDAQ平均株価の推移



出典: Bloomberg  
(2013年9月30日時点)

## お問い合わせ窓口 (経営企画室)

TEL 03-6803-3976

FAX 03-6803-3971

Email [ir@nepro.jp](mailto:ir@nepro.jp)

URL <http://www.nepro.jp>